

## 第2期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績評価結果一覧表

評価基準	S・・・特筆すべき進捗状況にある	A・・・計画どおり進んでいる	B・・・おおむね計画どおりに進んでいる	C・・・やや遅れている	D・・・重大な改善事項がある
------	------------------	----------------	---------------------	-------------	----------------

## 【1】中項目評価

項目	法人評価	評価委員会評価								評価理由等
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項										
1 良質で安全な医療の提供	B	B	B	A	B	B	A	B		<p>周産期医療を除けば、ほぼ計画以上の提供ができています。</p> <p>救急医療への取り組み、人間ドックの充実、今回の新型コロナウイルス感染症に対する取り組み(院内感染を出さなかったこと)を評価しました。</p> <p>小項目(4)以外は順調だが、(4)で産科医の確保の目途がたっていないことからBとした。</p> <p>産科医療の採用が進まないこと、予防医療が数値的には目標以下なことなどが評価を押し下げているかもしれないが、救急ほか急性期医療全般が計画を上回る成果をあげてきたことを評価したい。</p> <p>地域医療の取り組みにおいては近隣の中核病院との連携も必要ではないのか、栃木市メディカルセンターとの連携も必要なのではないか。</p>
2 医療提供体制の充実	A	A	S	A	A	A	A	A		<p>医師数、看護師数、人材育成(様々な資格者の育成)等々、十分に目標を超える体制が整ってきている。</p> <p>既に2020年度の目標値を越える人員を確保し、2019年度は稼働目標値を大きく上回ったことを評価しました。</p> <p>医療を行うためには、スタッフの確保が重要です。安定した人員の確保に努められています。</p> <p>医師数、看護師数が目標を上回っているためAとした。</p> <p>医師数と看護師数が年々増加していることを評価したい。2020年診療報酬改定でタスクシフトが強調されていたように、働き方改革に向けては、これまでの発想では無かった思い切った考えが必要でないか。</p>
3 患者・住民サービスの向上	B	B	A	B	B	B	B	B		<p>患者満足度の評価も含め、A評価とした。今後も評価が後退しないよう、引き続き努力を重ねてほしい。</p> <p>数値的には上昇しているが、数値で測れない面もあり、さらに上を目指してほしい。</p> <p>患者満足度は多くの病院で苦慮する点だが、小山市民病院は堅実に積み上げ、かつ数値化して大変な成果をあげていると思える。ただ「追求すれば向上余地は未だ尽きない」との法人の言葉を重視し、Bとする。</p> <p>患者満足度アンケートは多方面から拾うことをお勧めしたい。退院後の満足度アンケートも拾ってほしい。</p>
4 地域医療連携の強化	B	A	A	A	B	B	B	B		<p>紹介・逆紹介率も目標に達し、各研修会・研究会も充実している。医療連携室と各医療機関事務レベルの交流も要す。</p> <p>紹介率、逆紹介率とも、ほぼ2020年度の目標値に到達している点を評価しました。</p> <p>医療従事者だけでなく、ボランティアの方々も含めた患者・住民サービスに今後も期待しています。</p> <p>地域医療連携は順調。地域包括ケアシステムへの推進は今後期待。</p> <p>紹介率、逆紹介率は確実な成果をあげ、病診連携も確実に進められているとのこと。これらの財務への貢献を思えば非常な進捗(A)と思える。ただし、自院が生き残るための経営から地域の医療地図を描く側としての経営に進む、次の段階があると考えBとする。</p>

5 信頼性の確保	B	<b>B</b>	B	B	B	B	A	B	<p>医師会内部からの評価も良好であり、更なる期待を込めてB評価とした。</p> <p>病院機能評価受審の準備を通じて、改善が図られることを期待します。</p> <p>客観的な指標は、十分に信頼性を確保していると言うに足る内容と思われる。強いて言えば次の課題は、「何をするとAになるか」をより明確にすることでないか。</p> <p>計測的に今後も見直しをしてほしい。患者からの口コミ、照会を増やしてほしい。</p>
----------	---	----------	---	---	---	---	---	---	---

## 第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 管理運営体制の強化	B	<b>B</b>	B	B	B	B	B	B	<p>PDCAサイクルの運用が進めばA評価。</p> <p>これまでの取組は評価できますが、今後病院を取り巻く環境の変化が予想される中、独法の特徴である機動性や柔軟性を発揮できるかがカギになると思います。</p> <p>法人評価にある通り、と思量する。これからコロナは医療地図や生活を一変させていく可能性があるため、しなやかに対応できる体制に、強化されたい。</p>
2 働きやすい病院づくり	B	<b>B</b>	B	B	B	B	B	B	<p>B相当と思われるが、今般のようなパンデミック下でも、臨機応変な対応が望まれる。今後の課題か？</p> <p>人員の確保はほぼ順調だが、今後、定着率などを見ていかないと、評価は難しい。</p> <p>働き方改革全般が、コロナ禍の影響で良くも悪くも崩しになっている。このような中では、いよいよ「働き方改革に『合わせた』経営」をしていたら、悪くなってしまう。診療報酬改定をさらに先読みし、「働き方改革を越えて行く」病院づくりが必要になる。</p> <p>今後は考課者の教育をよりいっそうして欲しい。</p>

## 第4 財務内容の改善に関する事項

1 経営基盤の維持と経営機能の強化	B	<b>B</b>	A	B	B	B	A	B	<p>現時点でA評価は充分満たされている。コロナによる影響は今後その時々で最善を尽くすのみ。</p> <p>2019年度までの実績は目標値を超える素晴らしいものですが、今年度の新型コロナウイルス感染症の影響を加味し、法人自己評価に合わせました。</p> <p>黒字を継続しており、一定の経営基盤が構築されている。</p> <p>ここまで3年間を鑑みると計画以上、コロナ禍の影響を考えると計画通りくらいになるとのこと。この軌跡と財務数値は大きく評価したい。</p>
2 収益の確保と費用の節減	B	<b>B</b>	A	B	B	B	B	B	<p>現時点はA評価に値する。今般コロナに係る国の助成等は、最大限利用すべきと考える。</p> <p>2019年度までの実績は目標値を超える素晴らしいものですが、今年度の新型コロナウイルス感染症の影響を加味し、法人自己評価に合わせました。</p> <p>目標値を大きく上回っているため、2019年度まではA評価。2020年度をどう乗り切るか。</p> <p>二次救急病院の機能、収支として申し分ないと思う。上記「第2」に記載があるように予防医療などの目標も掲げているのであれば、今後の収支指標の中に、予防医療ほか周辺業務も入れるのはどうか（民間との競合等が無いのであれば）。</p> <p>どんな状況の中でも、地域にとって必要とされる病院になってほしい。</p>

## 第5 その他業務運営に関する重要事項

小山市地域医療推進基本計画に対する取り組み	B	<b>B</b>	B	B	B	B	B	C	<p>小山市地域医療推進基本計画は根本的なものであり、できるだけ具現化できるよう努力すべき。</p> <p>臨床研修病院に向けての取り組みが前進したことは、高く評価します。</p> <p>目標到達が厳しい項目が3点掲げられており、中期目標期間に一定の成果は挙げてほしいと思います。</p> <p>非常に広範な目標を掲げているので、まだ未達項目もあると見られることからBとする。病院の規模等を思うと、計画達成項目に「優先順位」を付けて取り組まれない。</p> <p>進捗していない項目が3項目、今後少子高齢化の小山市を迎えるにあたり、とても重要な項目なのでC評価とさせていただきます。</p>
-----------------------	---	----------	---	---	---	---	---	---	---

## 【2】全体評価

全体として高い評価は妥当である。しかしこのタイミングでコロナ禍にみまわれた事は、むしろ弱点を見直す好機と考え、次なるステージに臨むべきと考えます。

2019年度までの人員確保、医療提供体制の充実、その結果としての損益収支の連続黒字、キャッシュフローの安定については、執行部の指導力、病院職員の皆様の努力の成果として、高く評価します。病病連携・病診連携強化により、紹介率・逆紹介率も高い水準で増加傾向にあり、着実に小山市の基幹病院としての実力をつけていることが窺われます。また、自治医科大学附属病院との連携、機能分担も良好です。本年2月以降の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応、受診動向の変化により、他医療機関同様、今年度は厳しい状態が継続していますが、行政への働きかけと同時に受診する市民の方への啓発・広報活動を行う事で、この難局を乗り切ることを期待します。

着実に実績を上げていることが確認できました。更なる充実を期待しています。

黒字を継続しており、順調に計画を実施していると思います。新型コロナウイルスの影響を受ける最終年度をどう乗り切るかが課題となりますが、独法の特徴である機動性や柔軟性を発揮して、計画を達成することを期待します。

コロナ禍の影響による最終年度状況への憂慮から、全体に法人評価が厳しくなっているようだが、内容的には全体をAと評価したいところである。元々診療報酬改定が働き方改革を織り込み、テレワークやICT診療、そして「常勤・専従」要件緩和などを推奨していた。そこにコロナ禍が来て、奇しくもそうした働き方の環境整備が、医療内外で一気に進展した。これからも、全国的に経済や労働観がさらに変質する可能性がある。人材の動き方も、地域によっては大いに変わってくる。そういう中で、医師から事務局に至るまで、新しい発想でどのような働き方を模索していくか。国や法律が考えるより「さらに進んだ」働き方改革を、一緒に考えて行きたい。

経営、患者接遇、ボランティア等、いろいろな面で素晴らしい実績を残されていると思います。今後は、どんな困難にも打ち勝ち、経営していくうえで地域に根差した病院になってもらいたい。必要とされる病院とはどんな病院なのか？小山市の現状を把握し地域に根差した、必要とされる病院になっていただけることを希望します。